

学校長あいさつ  
校長 向井 秀俊

芸術の秋、文化の秋と呼ぶに相応しい季節になりました。今年は展示発表のみになったとはいって、文化祭が行えることを嬉しく思います。これまでに、各学年・各クラス・各教科・各部で作り上げた作品をしつかり鑑賞しましょう。

私は芸術・美術に関する知識は豊富ではありません。しかししながら、一つひとつの作品を見ると、それぞれに個性があり違いを感じることができます。非常に細かなところまで丁寧に作られており、繊細さを感じる作品。大胆な筆遣いで、力強さを感じる作品。ユニークな発想で、思わず微笑んでしまう作品。大勢の力が結集された、団結と苦労を感じる作品。何となく好きだなど感じ、家に飾りたくなるような作品。どれもが、世界に一つしかない作品です。

芸術作品には、ペーパーテストのように正解などありません。どの作品にも、作った人の思いや苦労が入っていてすべてに素晴らしいしさがあります。桜宮中学校が一丸となって取り組んだ文化祭の作品も、すべてが非常に価値あるものだと思います。それぞれの個性を感じながらみんなで楽しみましょう。

生徒会長あいさつ  
生徒会長 井上 誓

秋が深まり、文化祭の季節となりましたが、みなさんは、『文化』をいう言葉に心を寄せたことはありますか？ 文化という意味の英語の『culture』は、【くわを使って土地を耕すから心を耕すに転じた】とされています。もともと生きるために最低限必要だった農耕を意味していたものが、豊かな生活を求めて洗練され、そして今日の『心を豊かにする』という考え方になりました。文化というものは人間の根底にある、豊かさを求める本能、つまり「向上心」によって作られてきたものであり、これこそが人類の発達を支えてきたものです。

生徒の皆さんも、クラスや学年で一つの作品を創りながら「こうしたらもっと良くなるんじゃないかな」と思ったことでしょう。文化祭は、普通授業では感じることのできない、本能的で純粋な「向上心」が体感できます。とはいえ、学校行事を行うまでの最大の目的は、学んだことを生かして日常をより快適にすることです。「もっとこうしよう」といった気持ちを明日からの生活に応用しましょう。みなさん自身の手で、向上心を持って改善することで、改善されたという効果を感じられると思います。そしてそれが、一つの文化を直接形作ることとなります。

今年度は、新型コロナウィルスの影響で、残念ながら文化祭の舞台演技の部もなくなってしまいました。楽しみにしていた生徒や保護者の方々、地域の皆様も多いと思います。しかし、今年度は班が、クラスが、学年全体が一丸となって、一つの作品を作り上げることができました。舞台演技がなくなってしまって寂しいですが、他学年より磨きのかかった作品をじっくりと鑑賞しましょう。

# 2020

## 文化祭



年 組 番 氏名

# 展示案内図

